

「まちなか防災標識」 石川高専防災チーム

背景

第1回高専防災減災コンテストにて、石川高専が誰ひとり取り残さない避難を目標に新しいハザード情報、本サービスの前身である「まちなかハザード標識」を開発した。その有効性が認められ、防災科研賞を受賞し、津幡町のR5年度補正予算で標識設置事業が石川高専に委託された。加えて、次年度以降も対象地区を順次広げていきたいとの相談があり、このサービスの商品性および市場ニーズの感触を得ている。

商品・サービス

このビジネスプランで提供する商品は「まちなか防災標識」である。これは、避難場所名、距離、方向、避難経路をGoogle Mapで示すQRコードで構成された低コスト・高耐久性のシールである。ひと目で避難場所が分かり、経路が分からない人はQRコードから確実に避難できる出来る商品である。この標識の設置により、対象地区の避難情報空白地帯を減らし、防災力を向上させるサービスである。

ポイント

- ひと目で必要な避難情報を的確に読み取れる
- 安価で提供出来る
- 安価であるため、ハザード情報の更新も容易にできる

事業展開 まちなか防災標識を自治体・地区に設置する

自治体・地区との提携

- 自治体・地区からの依頼
- 設置地域の実地調査
- 設置場所・数の決定



製作・設置

- オーダーメイドのデザイン
- 標識の製作・設置



他自治体への拡大

自治体の防災担当部署に活動内容と「まちなか防災標識」の効果の宣伝をする